

# 令和3年度 議会報告会

## 「磐田市総合計画特別委員会」報告

1.目的と検討項目

2.議論の経過

3.提言のまとめ



磐田市総合計画特別委員会の報告を致します。

# 1 目的と検討項目

## ①総合計画とは

- ・市の将来像や目標を定め、実現のための取組みを示した中・長期計画（基本計画は、5年ごとに見直し）

## ②目的

- ・各議員が市内外の視察や調査活動などを通じて把握した課題を、市の担当部局と意見交換及び議員間の協議を通じ、提言を市長に提出する。



## ③検討項目・検討方法

- ・令和4年度～8年度までの後期基本計画(案)の内容について
- ・総務分科会、民生教育分科会、建設産業分科会で協議

はじめに、委員会の目的と検討項目について説明します。

総合計画は、市の将来像や目標を定め、その実現のための取組みを示した中・長期計画です。インフラ整備や福祉、住民サービスなどの様々な施策は、この総合計画に沿って検討され、毎年度の予算として議会の審議を経て決定し実行されます。

こうした重要性を踏まえ、磐田市議会では総合計画そのものについても議会の決定事項としています。加えて、特別委員会を設置し、各議員が住民の皆様からいただいた意見や市内外の視察や調査活動などを通じて把握した課題をもとに、市の担当部局との意見交換および議員間の協議を通じて整理した提言を、市長に提出しています。

今回、本特別委員会では、平成29年度から令和8年度までの中・長期計画である磐田市第2次総合計画のうち、令和4年度から8年度までの後期基本計画（案）の内容について協議を行いました。

なお、総合計画特別委員会は、議長を除く議員全員をメンバーとする本委員会と行政組織別の3つの分科会（総務分科会、民生教育分科会、建設産業分科会）で構成されています。

## 2 議論の経過

7月12日 磐田市総合計画特別委員会の設置を決定  
第1回特別委員会(正副委員長の選出)

7月29日 第2回の特別委員会(全体説明、質疑)

8月20日 総務分科会 (詳細説明、質疑)

↓新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令により文書質問

8月23日 民生教育分科会 (詳細説明、文書質問)

8月24日 建設産業分科会 (詳細説明、文書質問)

10月 7日 分科会毎の提言のまとめ

10月13日 第3回特別委員会(提言内容の報告・決定)

11月 1日 議長から市長に  
第2次磐田市総合計画後期基本計画(案)  
に対する提言書を提出



次に、委員会の議論経過について報告します。

まず7月12日、全員協議会において磐田市総合計画特別委員会の設置を決定後、第1回特別委員会を開催し、正副委員長を選出しました。7月29日には第2回の特別委員会を開催、策定中の後期基本計画(案)についての全体説明を受け、質疑応答を行いました。

次に、8月20日から24日にかけて、総務、民生教育、建設産業の各分科会に分かれ、詳細説明と質疑応答および委員間の協議を行うよう計画しました。しかし、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されたことから、行政担当部局からの説明を受けたのち、質疑応答については文書で行うよう運営を変更し、この文書による質疑と回答をもとに、委員間の協議によって課題や提言事項を抽出する方法に変更し、全体日程を変更することなく提言をまとめることが出来ました。

具体的には、分科会毎の提言のまとめを10月7日に行った後、10月13日、特別委員会全体会を開催し提言内容を決定、11月1日に議長から市長あてに第2次磐田市総合計画後期基本計画(案)に対する提言を提出しました。

# 3 提言のまとめ

## ①まとめ

市民に分かりやすい具体的な表現を求める、主に地方行政が直面している課題と対応について3分科会からの報告を整理し、提言をまとめました。



## ②今後の予定

- ・市民からのパブリックコメントなどを踏まえ  
市の各担当部局が検討・修正
- ・令和4年の市議会2月定例会  
「第2次磐田市総合計画後期基本計画について」  
議案として審議・採決

最後に、委員会における議論概要について報告します。

磐田市総合計画は、はじめに、基本構想、基本計画と大きく3つの章立てになっており、基本構想は10年を、基本計画は前期・後期に分け5年ごとに見直しています。現在は、磐田市第2次総合計画の4年目にあたるため、後期基本計画が、検討対象となります。

これまで4年間の課題整理も重要であることから、市民意識調査および前期基本計画評価報告なども参照しながら、委員間の協議を積み重ね、提言書を策定しました。

各委員からは、全体にかかわる意見として、

「優先すべき事業の記載を検討すべき」「SDGsの推進について分かりやすく表現を」「グラフや図、用語解説を多く掲載し市民に分かりやすい計画作成を」などが、

個別の施策に関する意見としては、

現状と課題や指標・目標値について、市民に分かりやすい具体的な表現を求める意見をはじめ、子育てや障がい者・高齢者福祉、産業振興や地域活性化、地球環境など、主に地方行政が直面している課題と対応などについての意見や提案があり、

3分科会からの報告を整理する形で提言をまとめました。

今後、市民からのパブリックコメントなども踏まえ、市の各担当部局が検討・修正を行い、令和4年の市議会2月定例会に「第2次磐田市総合計画後期基本計画について」議案として提出され、審議・採決される予定です。

以上で、「磐田市総合計画特別委員会」の報告を終わります。